

駅に日用品プラスチック容器（※1）回収ボックスを設置・リサイクルする実証実験を開始します

ユニリーバ・ジャパンと当社は、2022年3月28日（月）から田園都市線南町田グランベリーパーク駅に、ユニリーバ製品の使用済みプラスチック容器の回収ボックスを設置・リサイクルする実証実験を開始します。



日本は一人当たりの使い捨てプラスチックごみの量が米国に次いで世界2位（※2）です。しかし、日本の日用品においては、飲料ペットボトルとは異なり、使用済み容器を素材別に分別回収する仕組みがないことなどから、多くのプラスチック容器が再び容器から容器へとリサイクルされていないのが実情です。

今回両社が連携する「UMILE（ユーマイル）プログラム」は、毎日の暮らしの中でお得にエコ活ができるプログラムとして、2020年11月よりユニリーバ・ジャパンが開始したものです。

ご家庭で使用後に洗浄・乾燥したユニリーバ製品（空のプラスチック容器）を南町田グランベリーパーク駅の回収ボックスに入れると、「UMILE」ポイントがたまります。

「UMILE」は、LINEポイントへの交換のほか、子どもたちのために活動している団体への寄付も可能です（1UMILE=20LINEポイントまたは20円の寄付）。

「UMILEプログラム」の詳細はこちら <https://www2.unilever.co.jp/umile/ecocp.html>

（他にもUMILEをためる方法がございますのでご確認ください。）

なお、南町田グランベリーパーク駅に設置する回収ボックスには、廃棄予定の東急電鉄駅係員の制服を活用し、オリジナルのデザインをほどこしています。



当社では、今後も幅広いプラスチック容器の回収を目指すなど、誰もが参加しやすい資源循環型の取り組みを推進し、東急線沿線のサステナブルなまちづくりに取り組みます。
皆さまの実証実験へのご参加をお待ちしています。

(※1)ユニリーバ製品のプラスチック製のボトル、つめかえ製品（ヴァセリン、ジフ、ドメスト、レセナ、サシェ除く）

(※2) 出典：国連環境計画「シングルユースプラスチック」（2018）